

## 白石市議会改革特別委員会

1. 招集日時 平成27年3月18日(水)午後3時
2. 場 所 白石市議会 第1委員会室
3. 本日の会議に付した事件
  - (1) 議案書・予算書をホームページに掲載する
  - (2) 議長交際費をホームページで公開する
  - (3) 行政視察、政務活動費による研修などの各議員の報告書をホームページで公開する
  - (4) 議会に対する意見や感想の随時受け付け(議会ネットモニターの設置)
  - (5) 公式行事への正副議長欠席時の対応
4. 出席委員

小 川 正 人 委 員 長	山 谷 清 副委員長
澁 谷 政 義 委 員	管 野 恭 子 委 員
佐久間 儀 郎 委 員	山 田 裕 一 委 員
5. 欠席委員  
な し
6. 傍聴者  
な し
7. 事務局職員出席者  
佐 藤 泉 寿 議事係長

~~~~~  
午後2時58分 開会

◎小川正人委員長 定刻よりちょっと早いですけれども会議を始めます。

会議に入る前にお願いいたします。本委員会の議事は、全てテープに録音し会議録を調製いたしますので、発言については委員長の許可を得た後、発言されますようお願いいたします。

ただいまから議会改革特別委員会を開会いたします。

それでは、早速協議事項に入ります。

「議案書・予算書をホームページに掲載する」についてを議題といたします。

これについて事務局説明をお願いします。

◎佐藤泉寿議事係長 まず、1番目の「議案書・予算書をホームページに掲載する」ということですが、現在、当局側とこの件について協議をしている最中です。

まず、単純にそのまま議案書をホームページに掲載できるかというところ、なかなか実際には個人情報に関係もありまして、そのままというのはどうなのかなというところがあるんですね。例えば、教育委員とか人権擁護委員とかそういった人事案件がありますと、議案書のほうには住所とか生年月日まで載りますので、完全にもう個人情報が出てしまうというのがあります。あとは、議決事項の中に、訴えの提起であるとか、あとは損害賠償であったりすると相手方というのは載りますので、この辺も個人情報の問題があるということです。

議案書は、一般の市民の方が自由に見られるものなので、通常そこを隠さないで出しているものなんですけれども、ホームページでもって誰でも、市民以外、当然全世界にというような形になってしまうので、そこまで積極的な個人情報を公開するというのはどうなのかなというところがありまして、情報公開・個人情報保護審査会というのがあるんですけれども、この前、空き家のほうで佐久間委員も多分出席されたあれの後に、総務課のほうで一応確認していただいております。その中で出てきた専門家からの意見なんかも踏まえて、あともうちょっとで回答が上がってくるかなという、今そういう段階です。なので、もう少々お待ちいただきたいなという、今、経過報告になります。

◎小川正人委員長 この予算書というのが――予算書で大まかなやつ、大まかというか小さな項目別あるだろう。説明書、あれは載っけないだろう。あれも載っけるの。

◎佐藤泉寿議事係長 予算に関する説明書ですよ。

◎小川正人会長 うん。

◎佐藤泉寿議事係長 載せ方なんだと思うんですけれども、款項ぐらいまで載せているところもありますし、もう節まで載せているところもあります。仙台市なんかは、予算に関する説明書、その款項目節まで載せております。登米市の場合ですと項まで、款項ここまでということで載っております。あと、概要版なんかを別につくっていて、それを目まで載せているというのもありますし……。

◎小川正人委員長 重立った政策だけか。

◎佐藤泉寿議事係長　そういうふうになると手間が……、同じように手間をもう一つつくらせるということは、ちょっとそこはなかなか厳しいのかなというのはあるので、節までばんとそのまま載せるのであれば、そのままやればいいだけの話なんですけれども、そこも今、財政課のほうも同時に照会かけているところではあります。

◎小川正人委員長　そうすると、きょうは、これはどういう形で載つけるという結論は出せないの、載つける方向で事務的に検討しているという範囲で終わりだね。

◎山谷清委員　掲載するということ。

◎小川正人委員長　掲載するということは全会一致でやるけれども、ただ内容については、今事務方と向こうの担当課のほうで話し合い中ということでもいいね。

◎佐藤泉寿議事係長　そうですね、もうちょっと回答まで……、今、総務課、財政課の方で調べている段階なので、それを見て。例えば考えられるのは、公開してもいいけれども、個人情報に配慮してくれというような形での回答があった場合に、例えば個人情報に係る部分をこっちサイドで墨を塗るというような、加工するような形でアップすると。そういうことをやっているところは実際あります。仙台市なんかはそういうやり方をしています。

◎佐久間儀郎委員　黒で塗っているの。

◎佐藤泉寿議事係長　そうですね、塗っています。

◎山谷清委員　黒塗りだね。

◎佐藤泉寿議事係長　それは、その相手方という場合は塗っています。あとは、やり方がそれぞれの市によって違いますけれども、登米市なんかですと、もう人事案件は全部載っています。

◎山谷清委員　登米市では全部出しているの。

◎佐藤泉寿議事係長　全部出していますね。その場合ですと、訴訟の相手があるので、その部分につきましては一工夫入れています。議案書自体には、住所、名前を当然書かなくてはいけないんですけども、そこには一工夫入れて、例えば「宮城県仙台市在住男性A」とか、そういうような書き方をしたものをつくっているわけですね。加工というか一工夫をするような形も考えられるかなというところですよ。

◎山田裕一委員　私は、事細かに全てを載せる必要はないと思うんです。個人情報とかそういったところには十分配慮する形で、墨を入れるのも何かあれなので、例えばこういうんだったら、ここが個人情報だとしたら何か白い紙で張って、それをPDFで

読み込ませればいいのかなんて逆に思うのです。いかにも個人情報だから隠しましたとかって言って墨をつけるよりは、もう何かそういう白い紙とかを載せてしまって、どういふ議案が議会で審議されているのかというのがわかればいいので、そんなそんな、私は個人情報の細部までというところはやらなくてもいいんじゃないのかなって考えているほうなんです。要望なんですけれども。

それから、予算書のほうは、私も手を加えないでそのまま節まで、私たちいただいているもののデータを当局のほうも持っているでしょうから、そのまま上げてもらえるだけでいいんじゃないのかなと思うんですけれども。そんなそんな、当局側とすると、予算書を上げるというのは抵抗あるんでしょうかね。

◎佐藤泉寿議事係長 予算書に関しては、どういったことを考えられているかというのは、まだ回答が来ていないのでわからないんですけれども、今わかっている部分では「議案書の個人情報の部分は」というのは聞いております。

◎佐久間儀郎委員 財政課の判断を待ちましょう。

◎山谷清委員 今、判断を仰いだほうがいいんでない。

◎佐藤泉寿議事係長 回答が来たときに、また次の委員会あたりでお示ししてご協議いただければと思います。

◎小川正人委員長 これでいいですか。とりあえず、議案書と予算書をホームページに掲載する件。（「はい」の声あり）

次、「議長交際費をホームページで公開する」。事務局説明してください。

◎佐藤泉寿議事係長 （2）の「議長交際費をホームページで公開する」につきまして、資料のほうを……、資料といっても、ホームページの他市の状況をプリントアウトしたものを1枚目にお配りしておりますけれども、県内の市議会において、議長交際費のホームページへの公開状況を調べてみましたけれども、県内で公開していないのは多賀城市と角田市と白石市のみです。あとは全部出していました。こういった状況なので、公開していく方向なのかなというふうには思いますけれども、イメージとしてお配りしていた、こういうような形で、作成のほうは平間次長のほうとも相談しながら進めていきたいなというふうには思っております。

◎小川正人委員長 うちの議会は、飲食費なんかは会費内のあれだから、何を言われても問題ないような交際費の使い方をやっていると思いますけれどもね。今まででどうだろう、政務活動はお土産とかなんかで使うのは初めてだな。このごろは。

◎佐藤泉寿議事係長 最近そうですね、使うようになっていきます。

◎小川正人委員長 今までは大体会費で終わりだから。

◎佐藤泉寿議事係長 ちょっと前までは、行政視察で来られたときの菓子代とかというのも出していなかった感じだったんですけども、これを見ると他市でもそういったのは使っているようですし、これからは出していきましようということになりましたので、ここ1年くらいは使っている状況です。

◎管野恭子委員 白石の名物を出すんでしょうから。

◎山谷清委員 これを公開するのは賛成です。

◎小川正人委員長 それでは、こういう形式で公開は構いませんね。（「はい」の声あり）  
次、3番目「行政視察、政務活動費による研修などの各議員の報告書をホームページで公開する」を議題といたします。

◎佐藤泉寿議事係長 こちらにつきましても、資料のほう、さっきの議長交際費の裏からになります。裏から続いていく資料になりますけれども、これまで参考にしてきました北海道栗山町のホームページがこれになりますが、ここの「政務活動費の報告」というところがあります。ページかわって、このように何月何日にどこどこに議員誰々が行きましたというような、まずこういう表のようなものがありまして、この表の議員の名前のところをクリックすると、次のページの「政務活動報告書」というような報告書にいくわけです。そうすると、この議員の行ってきた報告書内容が、これはPDFなので、そのまま見られるというような形で、栗山のほうはやっているのかなというふうに思っております。

このようなイメージなのかなということを書いてこれをプリントアウトしたわけなんですけれども、これについてどこまでやるか、常任委員会の行政視察の報告書であるとか、あとは政務活動費を使って行った視察とか研修についての報告書もやるのか、あとは今でいうと研修費がついていまして、千葉のアカデミーに行った報告書も載せるのか、どの辺の範囲までやっていくのかというようなところも含めて、イメージも含めてこのイメージについてご協議をいただければと思います。

◎小川正人委員長 事務局説明は終わりました。皆さんの意見を聞かせてください。

◎山田裕一委員 公費を使ってのものですから、私は、各一人一人の議員が公費を使った研修に関しては、全て報告書を上げるべきだと思います。

◎管野恭子委員 一緒の思いです。ただ、行政視察の常任委員会なんかで行ったときに、

今、我々の意見を聞きながら一つにまとめていると思うのですが、各議員それぞれ上げるとタブっちゃったりしないかなというふうに考えるので、常任委員会の視察なんかは、一つにまとめたものをホームページで公開するというほうがいいのかというふうに考えるんですが。あとは、政務活動費を使って個人で行ったものは、もちろん個人で、今説明あったようなとおりに書き方はそれぞれ考えたとしても、そういう形で報告していくという方向でいいのかというふうに感じます。

◎小川正人委員長 他の委員の皆さんは。

◎山田裕一委員 管野委員の言っている趣旨は十分理解できるんですが、ただ、同じものを見ても、その議員その議員の見方、感じ方って違うと思うので、重複する内容はあって当然だと私は思うんですが、まとめてということではなくて、その議員議員の着眼点をちゃんと報告書というふうに上げていただいて……。

◎管野恭子委員 個別に。

◎山田裕一委員 あとは、それも含めて市民の皆さんが、連名でとなると、正直誰かが書いて、誰かが書いてないのかどうかということも十分考えられると思うのです。そうではなくて、公費を一人一人使わせてもらっているんですから、自分の名前で報告書を上げるというのが、私はそれが一番間違いのない出し方だと思います。

◎澁谷政義委員 異議なし。

◎佐久間儀郎委員 私は、とにかく公費を使って視察なりの経費をいただくわけですから、報告書を出すのは当然だと思っています。ただ、今までのケースだと、まとめてやっていたというケースもあるので、そういう場合はそれで、何人か行った中で代表の誰が書いたとかということでも通じるのではないかなという、その辺の余韻は残してもいいかなというふうに思っています。ただ、誰がその文書責任をとったのかという事は、それは載せるということにしておいて、そういう報告書の公開のあり方もあるかなと。

◎小川正人委員長 私の感じるのは、政務活動費は会派におろされているので、会派で一括に……、とりあえずは初めてのケースなのでワンステップを置いて、最初は会派の政務活動費1本、あとは常任委員会のまとめが出たらまとめ1本で、当面はそのぐらいでいいのかという気もしますが、いかがなものですか。

◎山谷清委員 私も佐久間委員と同じような意見なんですが、公費を使うから当然個人で出すのは当たり前なんですけれども、ホームページで公開するのは、行政視察なん

かも、管野さんも言いましたけれども、まとめたやつを掲載してもいいのかなと。

ただ、あと政務活動費についても、何人かで組んでこういうふうなことだというふうなことで報告すればいいのではなかろうかなというふうに、ホームページに掲載する分はそういうふうな方法のほうがむしろやりやすいのではないかなというふうにも思っていました。

◎管野恭子委員 なぜ、まとめるというふうに私言ったかというのと、各常任委員会の行ったメンバーがそれぞれ報告するとダブリが出てくると。ダブリが出てくることについて、見る人側にかえって負担かけてしまうのかなと思ったからそう言ったんですけども、ただ山田委員の言うのも本当によくわかるんですね。だから、一つまとめたものを出して、これについてダブらないようなところを、自分の個人の感想みたいなものもつけ加えるというふうにすれば、見る側のダブリの負担——見てもらうという負担については軽減できるのかなと今思ったんですけども、それでほかのところの自治体はどんなふうな……、いいケースがあれば、佐藤さんのほうで何か調べているところがあれば教えてほしいなと思ったんですが。

◎山田裕一委員 見るほうの負担で、それは違うと思うんですよ。私は。こちらの姿勢だと思うんですよ。だから、見るほうは、見る方は見ますよ。でも、やっぱり見ない方は見ないので、どこの部分を見るかということを見るほう側の視点ではなくて、こちら側は公費を使わせていただいているというところに対して、どこまで真摯に向き合っていくかというところだと思いますよ。こちらのあくまでもスタンスだと思うのです。だから、それを見るか見ないかは市民の皆さんですけども、私たちはしっかりと公費を使わせていただいて、私はやっぱり一人一人の議員が出すべきだと思うんです。

これを見ると栗山もそうですけれども、一人一人こうやって1枚の方もいらっしゃれば2枚の方もいらっしゃるし、それはそれでその議員の感じたものなのでいいと思うんです。重複したって私は全然いいと思うんです。そこで、本当に十人十色ではないですけども、感想ってやっぱり違うので、ほかの人が同じ内容だからとか、そこを調整してとかという部分は全くすべきでないと思いますよ。

◎管野恭子委員 政務活動費のやつですよ、今例が出ているのは。

◎小川正人会長 そうです、政務活動費。

◎管野恭子委員 常任委員会のは出ていませんよね。政務活動費はもちろんこれでいい

んですけれども、行政視察となると、もちろんその姿勢は当然のことながら、ほかにも見ていたりするとき、大体同じような内容のものが出てくるわけですよ。最後のほうに、個人的な感想が書いてあったりしたのをホームページで見たなという感じもあるんですけれども、そうすると、こうやっていって、「あっ、これさっきも出てきた。同じだな。何だ一つにまとめればいいのにな」とかという感じを受けたこともあったんです。だから、そういうのもちょっと無駄なような気もしたいので、もちろん姿勢としては山田委員おっしゃるとおりの姿勢で臨むのは当然のことなだけけれども、どっちみちダブリが考えられるんだったら、そのところは一つにして、あとは個人の……、そこを調整になるならない……、それでもダブリすることはあるかもしれないけれども、それ以外についても自分の個人的な視点みたいなところも別に入れるって……、ごちゃごちゃしているかい。

◎佐久間儀郎委員 そうしたら、もう一人一人出したほうがいいですよ。

◎山谷清委員長 一人一人出したほうがいい。

◎管野恭子委員 済みません、私の思いを言っただけです。

◎小川正人委員長 意見としては、代表というか、政務活動費だったら会派で行くんなら会派でまとめる。常任委員会なら常任委員会で一括報告書を今提出していますので、当面はその方向でもいいんじゃないかという意見と、山田さんの言うように、澁谷さんもそうだけれども、一人一人 18 人、行った方のやつを載つけると、そういう意見が今分かれていますけれども。

◎管野恭子委員 私は、政務活動費は別々個人個人で出したほうが……。

◎小川正人委員長 それは会派によって違う。

◎山谷清委員 1 人の人は 1 人。

◎小川正人委員長 1 人会派の方は会派イコール 1 人になるから。自民無所属の場合は、11 人イコール 1 本になる可能性もあるし。今はそういう形で、今後どうなるかわかりませんが、あくまでもだから会派で 1 つ。会派で 2 回に分けて行ったら 2 回出すし、3 回なら 3 回ということよ。

◎山田裕一委員 管野さんが、そこまで政務活動費を使った研修と常任委員会の研修というのを分けようとしている理由って何なんですか。結局、市民からすると、同じく公費を使っているわけですよ。と私は思うんですけれども、管野さんが、そこまで常任委員会はまとめたので、政務活動費を使ったのは一人一人という、その



ところをすみ分けようとしている趣旨が私わからないんですけれども。

◎管野恭子委員 言われてみるとそうかもしれないね。今私もふとそうだなと思って…  
…。政務活動か……。

◎澁谷政義委員 やっぱ議員一人一人が報告書を上げる。そして、報告書を上げたものをアップすると、それで一番問題ないんでないですか。

◎管野恭子委員 常任委員会も含めてね。

◎澁谷政義委員 それも議員の仕事だと思いますよ。報告書を上げるのも。

◎小川正人委員長 今でも報告書は上がっているんだけどね。ただ、それを載せるか載せないかの問題です。載せるのには、載せる載せない理由はないんだけど、それを上げることによって議会の品位が上がるか上がらないか。まず総体的に考えると。昔は何時何分に……。

◎澁谷政義委員 報告書を上げるということは、内容的には、同じところに行くから同じような内容でいくんですけれども、最後の総括とかというのは、議員どう考えているんだというのを、私が例えばほかのやつを見たかったら、そういうようなところを注視して見たいというところがありますよね。同じ行政視察したって、いろいろ総括的な考え方が違うんだから、あとは行政に対して物申す部分が入っているだろうしさ。それはいいんでないか、かえって。アップしたほうがいいと思うね、皆さんのやつは。

◎小川正人委員長 これちょっと意見が2つに完全に分かれていますので、全体会議 18人の意見をまとめて、多いほうの意見でやります。その前に、自民無所属クラブ及び 1人会派の皆さんも、できたら 18人で決をとらなくてもいいように、会派間の意見調整で次回で調整したいと思いますけれども、いかがでしょうか。

◎山谷清委員 賛成です。

◎小川正人委員長 この2つの意見を提示した。

◎佐久間儀郎委員 今、栗山町の様式をコピーいただいています、うちらほうも、こういう統一した様式の報告書をそろえていただいたほうがいいなど。任意で私も出していますけれども、こういう形でお知らせして、様式に当てはまった状態の報告書で何人もあるという形のほうがいいなと思います。

◎澁谷政義委員 様式をつくれということ。だけれども、余りそんなに違わないでしょう。大体、議長宛てにして、日にちを書いて、報告文、パターンはそんなに違わない。ただ、罫線で枠を張っているか、罫線使わないで書くかの違いであって。

- ◎山田裕一委員 ホームはそろっているほうがいいですね。
- ◎佐久間儀郎委員 様式はそろったほうがいいなと思います。
- ◎山谷清委員 見やすいことは見やすいな。
- ◎澁谷政義委員 そういう様式があれば様式にはめて書けばいいんだよね。
- ◎小川正人委員長 この様式は、会派で統一するか、個人で統一することにはいいけれどもね。
- ◎山谷清委員 それはいいんじゃない。
- ◎佐藤泉寿議事係長 きょうお配りしたのは、たまたまというか手書きで書かれたものを載せていますけれども、当然この様式にパソコン打ちして出している方も当然いらっしゃると思いますので、様式については統一ということになれば、こちらのほうでこういったものを参考にさせていただきながらつくりたいなとは思っています。
- ◎小川正人委員長 まず、様式は統一すると。
- ◎澁谷政義委員 そのほうが書きやすいですけどもね。
- ◎小川正人委員長 だから、ホームページに載つけるか載っけないかは別にして、全ての議員は、報告書はこのような様式をもって提出するというのは全会一致で、今のところだからね。
- ◎山谷清委員 オーケーです。
- ◎小川正人委員長 ただ、そうすると政務活動費は、現行のところでは会派の1本でもって提出してもいいようなシステムになるから、今度それを一部変えなくてはいいんだよな。全議員で。
- ◎佐藤泉寿議事係長 そういうことですね。
- ◎小川正人委員長 今は1本でもいいんだよな。
- ◎佐久間儀郎委員 今はそうです。
- ◎小川正人委員長 来年度から——それだけは決めておこう。今のおり1本でいいのか、それとも、もう同じところに10人が行ったら10人分を全部出して、あとそれも1本でまとめるのか。どうする。
- ◎佐久間儀郎委員 基本は1人ずつ。でも、皆さんで合意になって、例えば5人で合意で1人代表でみんなを出そうねといったら、それでも認めるかどうか、そういうことです。基本は1人ずつ。私はそう思っていますけれども。
- ◎小川正人委員長 今は、佐久間さんの言うとおりに、まとめても認めてもらおうと。政務

活動費についてはね。もらうのが会派だから、報告するのも会派という、そういう理屈なのよ。今、個人ではないから、もらっているのは。

◎山谷清委員 そういうことだね。

◎小川正人委員長 だから、もらっているのは会派でもらっているんだから、報告も会派という、理屈的にはな。個人がもらうんなら個人が報告しなくてはいけないけれども。ただ、それを今と同じ方式でいくのがいいのか、それとも、もう会派とは別に、全て行った方の個人の報告も提出するのか。これも諮らなくちゃいけないよな。

◎佐久間儀郎委員 基本は一人一人だと思っていますよ。でも、この前みたいにまとまって行くのは1本でいいんじゃないかという意見もまたある。

◎小川正人委員長 同じことを聞いて同じ話だからということだ。

◎佐久間儀郎委員 だから、それは一回諮ってみたらいいんじゃない。

◎小川正人委員長 だから、この会派の研修——この前、自民無所属クラブと澁谷さんも一緒に行ったけれども、国道何号線の拡幅計画は何月何日というのは、誰が聞いても全く数字変わらないんだよな。あと、まとめるか、早くしてほしい、理解を求める。だから、それだと1本の報告でもいいし、行政視察の場合は課題とかなんかというのは全然違うんだけどもさ。研修と、この前はどっちかといったら陳情みたいな形になっているから。

◎山谷清委員 要望だ、はっきり言ったら。

◎佐久間儀郎委員 でも、地方創生とTPPと農協改革については、それはそれで受けたけれども、それをどういうふうに自分は感じたかというようなことは、当然それぞれ違ったはずなんです。これが、皆さん市民の方は、見たい、聞きたいということだと思うので、そういう意味では個性を出せるものは1本1本出したほうがいいですね。

◎小川正人委員長 これも全議員に聞きますので。

◎佐藤泉寿議事係長 そうすると、一人一人出していくか、政務活動費の場合は一人一人出すか会派で出すか、あとは常任委員会視察についてはどうするか、まとまったやつを出すのか、それもやっぱり一人一人出すのかというのも全議員でお話しすることですけども、あとは公費を使っている部分でアカデミーの研修がありますが、これについてはどう……。

◎山谷清委員 アカデミーは、これは全然違うから。

◎小川正人委員長 これは、でも報告書はみんな出ているよな。ただ、それをホームペ

ージに載っけるか載っけないかなだよな。

暫時休憩します。

午後3時28分 休憩

~~~~~

午後3時30分 開議

◎小川正人委員長 休憩前に引き続き会議を開きます。

◎澁谷政義委員 講義をまとめてくるというのは大変なこともあるからさ、だから、その中の講義の中で、自分がこういうタイトルに対してどう感じたか、それでいいと思うんだ。

◎小川正人委員長 アカデミーも載せると。そうすると、これはホームページに載せるという大きな表題だから、全体会議でもう一回諮ろう。

◎山谷清委員 これも諮るのね。

◎小川正人委員長 それでいいでしょう。（「はい」の声あり）

次、4番「議会に対する意見や感想の随時受け付け（議会ネットモニターの設置）」についてを議題といたします。

事務局説明願います。

◎佐藤泉寿議事係長 こちらも資料のほうをお配りしておりましたけれども、議会基本条例に規定のある議会モニター設置については、検討に少し時間がかかるということも考えられるので、まず、すぐにでもできることということで、議会のホームページのほうにご意見募集のページをつくってはどうかというところです。

議会ネットモニターということだったんですけれども、まずは、すぐにできるご意見募集のページを、ちょっと案なんですけれども、今資料のほうにつけております。議会のホームページ改革を進めてからいろいろとボタンがふえております。今はこのように意見交換会ですとか、政務活動は今準備中なのでここにはまだ入っていきませんが、あとはインターネット中継だとかこういったような形になっておりまして、反対側、裏面にいきますと、このようになっているわけです。

その真下のほうに「議会にご意見を」というようなボタンをつけまして、ここから次のページにある「白石市議会にご意見をお寄せください」というようなページに飛ぶようにしていけたらなというふうに、今これは仮でつくっている状態なんですけれども。それで、市民の皆様にご意見を随時募集しておりますということで、郵便でも

FAXでも電子メールでも構いませんということで、その様式を裏のほうに載せております。それで、ご意見等記入用紙というものでもって送っていただければというところですよ。

その寄せられたご意見について、回答が必要なものは回答するということと、あとはこの丸の一番下のほうに書いていましたけれども、議会だよりなんかに掲載することも考えられるのかなというふうに思いまして、そういうふうに書いているわけなんですけれども、例えば質問あったものを何かコーナーでやるとか、あとは市長のほうに政策提言とか問題提起とかというようなことでつなげていけるものも、もしかするとご意見の中には出てくるかもしれないので、そういったことを想定しながらつくってみるところですよ。よろしくお願ひいたします。

◎小川正人委員長 事務局説明は終わりました。これについてのご意見は。

◎山田裕一委員 ぜひこのように進めていただければと思います。

◎小川正人委員長 他の委員のご意見は。

◎管野恭子委員 いいです。

◎山谷清委員 異議ありません。

◎小川正人委員長 いいな。それでは、この方式で進めることにご異議ございませんね。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎佐久間儀郎委員 方式については賛成しています。回答を出す場合には、回答を事務局から出しますよという、記入用紙の下のほうに書いてございますけれども、その回答の中身はどういうふうにするんですか。もし出た場合に。ここの議会改革で話し合った回答をまとめるということになるんですか。どうなんでしょうね。

◎佐藤泉寿議事係長 その内容によるかとは思いますが、その内容によって、例えば委員会のほうで話し合ったりとかということもあるかもしれないですし、それは政策企画とかということもあるかもしれないですし。

◎小川正人委員長 会派になることもあるしな。

◎佐藤泉寿議事係長 そうですね、その辺はちょっとその内容内容で変わってくるのかなというふうには考えておりますが、「事務局より」というのは、ただ発信どころが事務局となっているだけであって、事務局が回答するというのは……。

◎小川正人委員長 回答は、だから、あと議長の名前で返事するんだけど、常任委員会ですべてまとめてくれとか特別委員会ですべてまとめてくれとか。

◎佐藤泉寿議事係長 例えば、議会のシステムについて何かわかりにくいから教えてくださいとか、そういったぐらいの感じのものであれば特にこちらで回答できるのかなと。

◎山谷清委員 事務局で回答されるものは事務局でやると。

◎佐久間儀郎委員 政治判断が必要なような中身になってくると、すぐにはやれないからね。

◎佐藤泉寿議事係長 その辺は、ここにも書いていますけれども、時間を要する場合がありますということはあるかと思えます。

◎小川正人委員長 様式は、このような様式を用いて募集すると。返事の内容については、議長の判断により常任委員会に振るか会派に振るか個人に振るか。ただ、出すときは議長の名前で、議会にかかわるものは議長、もしくは個人的な発言について何の議員に意見を求められた場合は個人的な——それはケース・バイ・ケースだな。もしか、議会改革のメンバーで検討することも必要なこともあるし。対処に困るようなときは、この委員会で整理しましょうよ。（「はい」の声あり）これは、どこに振ろうとか、このメンバーでまとめようとか。この議会改革は、新しい年度になっても継続するというのは、今任期の議員からの賛同はもらっているの。それでいいですね。（「はい」の声あり）

次、「公式行事への正副議長欠席時の対応」についてを議題といたします。これ私から提案しているので私が説明しろというわけです。

私も副議長の経験はしていますが、いろいろなところから出席要請、議長に来ますね。できるだけ来たものについては参加している。ただし、卒業式とかなんかでダブっているやつ、議長1人きりしかいませんので。だから、もう議会を代表するというのは議長イコール議員でありますので、どこかの議員がどなたか出ている場合は、議長は、副議長も、それでは俺はこっちに行くからとか、そういうことで行かないときがあります。メッセージというかお祝いとか。

あと考えられるのは、先ほど第二小学校の場合は、議長以外には案内状行きません。だから、議長が行かないとなると、議会は誰も行かないと。ただ、そういうのを防ぐために、例えば正副議長が行けないと。そういう場合は、当局側を見ていると、市長が行けない場合は担当部長とか、副市長が来ているわけね。だから、議会も、もし正副議長が行けないんだったら、学校関係だったら教育民生の常任委員長が行ってもい

いんじゃないかと。議会を代表するんだからね、委員長として。もしか副委員長が行ってもいいんじゃないかと。何かの議会に議長イコール議会に議員に来てくれということだから、18人が忙しいことはあり得ないということで、どなたかが行くように正副議長2人で決めるのではなくて、それではこれは委員長に行ってもらおうとか副委員長に行ってもらおうとか、そういう幅を広げてもいいんじゃないかと、そういうことです。今は、もうお二人で決めて、それで終わり。特に感じるのは自衛隊関係なんですね。今の正副議長になってから、私も大町さんも議員としてでなくて別な関係で行くけれども、白石だけです、正副議長一回も顔を出していないのは。

◎山谷清委員 案内はしているの。

◎小川正人委員長 来ています。必ずこれは案内来ています。俺たちのときが来て、次から来ないということはあるから。大体、船岡自衛隊だけでもね。あと東北方面隊だけでも。大体議長関係は、特に船岡の場合は、災害とかあれでお世話になっているので大体来ているね。それに準じた方が。あと役場関係も総務課長とか。だから、白石だって例えば民生部長とか課長が出ているのであれば、議会だって委員長が出ても、代表しても恥ずかしくないんだから、もう少し臨機応変にやるべきでないかと。

特にこの前感じたのは、私は商工会議所の新年交歓会のときね。議長は行かない。副議長は参加しているけれども。議会に代表を求められているんだから、誰か議員が行くべきだと。そういうことで、出席の案内が議長に来たとして、議会の幅をもう少し広げてもいいんじゃないかということです。要点は。わかってもらえましたか。

◎管野恭子委員 わかりました。

◎山田裕一委員 賛成します。

◎小川正人委員長 だから、例えば正副議長が行かれないとなったら、これは何かといったら、総務関係だから総務の委員長行ってくれとか。ただ単なる、「議会はきょうメッセージをいただいている」ではなくて、どなたでもいいから、市民として議会を……、保科惣一郎の顔を見たいのでなくて、議会の代表の顔を見たいんだからさ。だから、どなたかが、議長の代行イコール議員でも誰でも構わないということですね。

◎山谷清委員 何らかの理由があった場合かい。

◎小川正人委員長 だから、要請があった場合、私は行けないので、体調が悪くて、何も俺行きたくても行けないから、それでもいいと思う。だから、委員長に代理で行っ

てきてくれと、議長からそういうふうに依頼をすべきでないかと。俺きょう忙しいから行けない、今までも誰も行かなかったから行かない。そういうことで、もう少し各委員長、責任ある委員長まで、できるだけ市民の負託に応えられるように、参加要請に対しては応えましょうと、そういうことなの。

◎山田裕一委員 賛成です。

◎小川正人委員長 招待状を出して来なかったら、来てもらったほうがうれしいよな。来なくてもいいんだったら、最初から招待状をよこさないんだけどもさ。いかななものでしょう。

◎佐久間儀郎委員 結構です。賛成します。

◎山谷清委員 いいんじゃないですか。

◎澁谷政義委員 よろしいと思います。

◎小川正人委員長 今までは、議長イコール議長の上の局長がいたからな。昔は。今はいないけれども。これ行かなくていいとかさ。お前が決めるんじゃないんだって。

◎管野恭子委員 その場合は、議長の代理として議会から行くということですね。

◎小川正人委員長 だから、案内されるときは「白石の保科議長」ということで、そして、あとは挨拶か、もし文書あるときは、もしかあと前もって言えば、議長代理で常任委員会の誰それさんが来ておりますと、そういうふうになるでしょう。

◎管野恭子委員 いいと思います。ちょっと休憩してもらっていいですか。聞きたいことがあるので。

◎小川正人委員長 暫時休憩いたします。

午後 3 時 4 4 分 休憩

~~~~~

午後 3 時 4 8 分 開議

◎小川正人委員長 休憩前に引き続き会議を開きます。

議会に案内状が来た場合は、正副議長出席不可の場合は、それに関連する議員をもってできるだけ出席するというので、この委員会で決めます。いいですね。（「はい」の声あり）

◎佐藤泉寿議事係長 委員長、済みません、1点確認なんですけれども、そういうものというのは、申し合わせ事項ってあるではないですか、そういうことに文書で残して



おく必要性というのがあるのかないのか、そこがちょっとわからないんですけども。

◎小川正人委員長 暫時休憩いたします。

午後3時49分 休憩

~~~~~

午後3時50分 開議

◎小川正人委員長 休憩前に引き続き会議を開きます。

以上で、予定した協議事項は全て終わりましたが、その他、何か委員のほうからありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎小川正人委員長 そういうことで、閉めていいですか。（「はい」の声あり）

それでは、本日の会議は、これで閉会いたします。お疲れ様でした。

~~~~~

午後3時51分 閉会

白石市議会委員会条例30条の規定により、ここに署名する。

議会改革特別委員長 小川正人